

事項	白輪ぎく「神馬」の6月早出し栽培に輸入穂が活用できる																											
ねらい	「神馬」の6月早出し栽培では、冬期の親株管理に労力を要する上、自家養成穂を使用した場合、親株低温遭遇による開花遅延や柳芽の発生が一部でみられる。そこで、生産国別輸入穂の早出し栽培への適応性を検討したところ、自家養成穂と比較して遜色のない切り花が得られることを明らかにしたので、参考に供する。																											
指導内容	<p>1 試験で用いた輸入穂の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生産国</th> <th>産地</th> <th>輸入代理業者</th> <th>系統</th> <th>穂単価 (円/本)</th> <th>1aあたり穂代 (円/a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インドネシア</td> <td>ジャワ島高原</td> <td>(株)マリンステージ</td> <td>鹿児島系1・2号</td> <td>5.0</td> <td>19,500</td> </tr> <tr> <td>ベトナム</td> <td>ダラット高原</td> <td>イシグロ農芸(有)</td> <td>愛知系</td> <td>7.4</td> <td>28,860</td> </tr> <tr> <td>中国</td> <td>昆明市、海南島</td> <td>振興企業(株)</td> <td>愛知系</td> <td>7.5</td> <td>29,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 穂単価：平成20年、税・送料込価格（4,000本 予約注文の場合）、穂代：130本/坪として計算</p> <p>2 採花期、切り花品質</p> <p>(1) 採花期は6月上旬～中旬、到花日数（シェード開始～採花盛期）は43～51日。 (2) 対照の自家養成穂を用いた場合とほぼ同等の品質が得られる。 (3) 採花期間が短く、開花の揃いが良い。</p> <p>3 栽培方法</p> <p>(1) 挿し芽は、穂の水あげを十分に行い、定植の2週間以上前にプラグトレイ等へ挿す。 (2) 定植は3月上旬、シェード開始は4月下旬（草丈55～65cm時）。 (3) 電照処理は、挿し芽時からシェード前まで、22時から2時まで4時間行う。 (4) シェード処理は、18時から6時までの12時間日長を基本とし、採花期まで行う。 (5) 生育温度は、電照期間中14℃以上、シェード3日前～発蕾18℃以上、発蕾以降13℃以上で管理する。</p> <p>4 栽培上の留意点</p> <p>(1) 生育期間中12℃の低温で管理した場合、適温管理より1か月前後開花が遅れる。 (2) 上位葉が小さくなりやすいので、シェード開始後、総苞形成後期から4日間を基本に再電照を行う。その際、4日程度開花が遅れる。</p>				生産国	産地	輸入代理業者	系統	穂単価 (円/本)	1aあたり穂代 (円/a)	インドネシア	ジャワ島高原	(株)マリンステージ	鹿児島系1・2号	5.0	19,500	ベトナム	ダラット高原	イシグロ農芸(有)	愛知系	7.4	28,860	中国	昆明市、海南島	振興企業(株)	愛知系	7.5	29,250
生産国	産地	輸入代理業者	系統	穂単価 (円/本)	1aあたり穂代 (円/a)																							
インドネシア	ジャワ島高原	(株)マリンステージ	鹿児島系1・2号	5.0	19,500																							
ベトナム	ダラット高原	イシグロ農芸(有)	愛知系	7.4	28,860																							
中国	昆明市、海南島	振興企業(株)	愛知系	7.5	29,250																							
期待される効果	<p>1 冬期の親株管理、採穂・調整を省略でき、省力化につながる。</p> <p>2 「神馬」輸入穂導入の目安となる。</p> <p>3 早出し栽培において計画的安定出荷が可能となる。</p>																											
利用上の注意事項	採穂場所や系統の変更により、穂の特性が変わることが予想されるので、輸入穂を導入する際は、これらの輸入代理業者に確認する必要がある。																											
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり (吹田 幸嗣)	生産技術部	対象地域	県下全域																								
発表文献等	平成18～20年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集																											

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 開花特性

(平成18～20年 青森農林総研フラワーセ)

年次	試験区		最低温度	定植日	シェード 開始日	採花期			到花日数 (日)
	生産国	系統				始期	盛期	終期	
H18	インドネシア	鹿児島系1号	全期間12℃	3/10	5/8	7/1	7/6	7/10	60
		鹿児島系2号				6/26	6/30	7/6	54
	ベトナム	愛知系				7/4	7/10	7/14	64
	中国	愛知系				7/7	7/14	7/20	68
	対照	フラワーセンターNo.1				7/12	7/25	7/31	79
H19	インドネシア	鹿児島系1号	電照中14℃	3/10	4/23	6/10	6/11	6/12	50
		鹿児島系2号	シェード3日前 ～発蕾18℃			6/7	6/9	6/10	48
	ベトナム	愛知系	6/10			6/12	6/13	51	
	中国	愛知系	6/10			6/12	6/13	51	
	対照	フラワーセンターNo.1	6/13			6/15	6/18	54	
H20	インドネシア	鹿児島系1号	電照中14℃	3/10	4/25	6/9	6/10	6/11	47
			シェード3日前 ～発蕾18℃		4/28	6/10	6/11	6/13	45
		鹿児島系2号	4/25		6/6	6/7	6/8	44	
			4/28		6/8	6/9	6/10	43	
	ベトナム	愛知系	4/25		6/9	6/10	6/11	47	
	中国	愛知系	6/9		6/10	6/12	47		
	対照	フラワーセンターNo.1	6/11		6/13	6/16	50		

(注) 対照：低温遭遇した親株由来の自家養成穂 到花日数：シェード開始日から採花盛期までの日数

表 2 切り花品質

(平成19～20年 青森農林総研フラワーセ)

年次	試験区			シェード開始時		切り花長 (cm)	花首長 (cm)	茎径 (mm)	調整重 (g)	葉数 (枚)	柳葉数 (枚)
	生産国	系統	シェード開始	草丈(cm)	葉数(枚)						
H19	インドネシア	1号	4/23	49.4	27.9	93.3	2.6	6.5	60.1	42.2	1.2
		2号		48.6	29.3	87.8	2.7	6.4	62.7	42.3	1.1
	ベトナム	愛知系		62.6	31.1	112.8	2.7	6.6	62.7	49.7	1.3
	中国	愛知系		57.8	29.9	109.1	2.7	6.9	69.4	48.6	1.2
	対照	No.1		59.3	30.3	110.5	2.6	6.7	63.1	49.4	1.1
H20	インドネシア	1号	4/25	56.5	26.9	106.0	1.6	6.8	57.2	43.3	1.0
			4/28	64.6	29.7	111.5	1.6	6.9	61.6	43.5	1.0
		2号	4/25	58.3	28.2	102.4	1.7	6.8	60.6	43.8	0.9
			4/28	64.6	30.7	108.0	1.6	6.9	63.0	45.0	1.0
	ベトナム	愛知系	4/25	58.3	26.6	109.0	1.7	6.6	54.4	44.4	1.0
	中国	愛知系	59.5	26.7	109.2	1.6	6.6	53.2	43.9	1.0	
	対照	No.1	61.7	27.6	108.8	1.6	6.4	53.2	44.9	1.1	

(注) 調整重：90cmの長さにし、下葉を15cm除いた重さ

【耕種概要】

- 1 定植時期：3月10日（無摘芯）
- 2 栽植様式：H18一条間10-10-30-10-10cm、株間10cm、4条植え H19・20一条間13-39-13cm、株間6.5cm、4条植え
- 3 施肥量(kg/a)：H18-N:P:K=2.0:1.8:2.0 H19・H20-N:P:K=2.0:0.8:2.5
- 4 電照処理：定植日～シェード前 20時～2時（暗期中断4時間）
- 5 シェード：18時～6時（12時間日長）